



読字 本原田 親

No. 531

2008/1/25

日中友好協会
岡山支部

〒700-8255
岡山市東区3-8-30-514
TEL:086-272-3910
郵便振替口座
01250-0-3835
http://rzhong.jp/
index.html

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒101-9065 東京都千代田区
西陣17-1-1 親善会館5階

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rzhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rzhong86@hotmail.co.jp



太極拳講習会の新年会 指導員からワンポイントアドバイスも

メンバーと久しぶりに会える日、胸をときめかせ会場へ。元気に会えて嬉しかった。

青木正美指導員のスピーチと乾杯で宴が始まり、美味しくうな料理がテーブル上へ。箸が進む。

各テーブルの上には、各自に青木由さん作の絵葉書セットのお年玉。青木正指導員からはラッキーナンバーの人に、ハローモニカのキーホルダーのお年玉。そして思いがけないサプライズ!! 脳ある鷹は爪隠すというが、小川さんが一粒の米に文字を書くという技を持って来た! 驚きである。2粒しかない貴重品をお年玉に提供して



米粒に4文字書かれている

くれた。作者の小川さんとしゃんけんをして... (こ)が面白い負けた人」がもらえるのである。(太極拳の極意は、負けて勝つ)とか。いつもじゃんけんに負ける私は自身があつた...だが勝つてしまった! 悔しい。負け続けたのは、正美指導員とナント私の主人であつた。その米粒にはそれぞれ

虚実分明「内外相合」という太極拳の極意の4文字が書かれていた。身近にこんな特技を持った方がいらしたとは感心するのみ。

テーブルごとに話は盛り上がり、記念写真でハイポーズ、美男美女の誕生? 宴もたけなわを過ぎると、少々酔い気味の正美指導員から太極拳のワンポイントアドバイス。一同注目。

それにしても、いい指導員や仲間に会えたものだ、幸せを感じながら家路へと鼻歌まじりの迷運転は行く。(ちなみに私はウーロン茶で乾杯でした。)今年もよろしくお願い致します。

三宅 麗子

第6回日韓歴史教育シンポジウム 高校の授業実践報告をきいて

竹内和夫



1月13日(日)午前10時から午後5時半まで、県立図書館で日韓の高校教師4人の授業内容をききました。韓国から参加の25人の先生(家族)たちをふくめ、百十四名が会場をうめました。

午前中の報告は① 古代吉備と朝鮮(村田秀石、玉野光南高校)、② 城で出会う韓半島と日本(朴星奇、河南高校)、午後の報告は③ 西洋文明との衝突、日本と朝鮮の選択(魚山秀介、帝京高校)、④ 東アジアと露日戦争(李慶勳、孝養高校)でした。

授業をうけた生徒たちの感想を読むと、近くて遠い国から、近くて近い国へ歴史が動いていることに感じました。同時通訳をはじめ夜のレセプションでも、ボランティア

アンの韓国の若者の活躍が目立ちました。

このシンポのために多数の日中友好協会の会員も参加し、岡山支部が協賛して支援しました。

映画 日本の青空
アンコール上映会

2008年2月2日(土)

1回目 10時30分
2回目 14時

会場
岡山県天神山文化プラザ
前売券発売中

一般 一〇〇〇円
学生 八〇〇円
チケットあります

「母べえ」の上映会も!

「母べえ」シリーズや 武士の一分でおなじみの山田洋次監督の「母べえ」が、1月26日から東宝系映画館で上映されます。昭和15年(1940年)東京、ドイツ文学者で戦争反対論者である野上滋が、ある日突然治安維持法違反で逮捕されます。その後、野上滋は獄死します。卓袱台を囲んで、母べえ、父べえ、二人の娘と幸せに暮らしていた家族が一瞬にして壊され、生活が不安と悲しみへと一変するのです。母べえの佳代は、周りの人々に支えられ必死に家計を支えながら、滋の面会や差し入れに通います。

国民救援新聞では、弾圧に抗し生き抜くことと題し、子どもを抱え生き抜く母の姿を通して、家族のきずな、平和への願い、戦争に抵抗する人への弾圧の非人道的な姿が描かれます」と評しています。全国障害者問題研究会 みんなのねがい紙上では、本作で描かれているのは、戦中に国賊・非国民・アカのレッテルを貼られた家族の絆と、それを辛うじて支える周辺の人々の姿である」と紹介しています。

山田洋次監督は「母べえ」は「吉永小百合」に是非お願いしたいと、わざわざ自らが手紙で依頼したそうです。又、監督の映画づくりの柱は、いつの時代にも、その時代に失われている大事なものを表現したいということだそうです。

卓袱台を囲んでの一家団欒のシーン、家族が信じ合うという深いきずなで結ばれている愛の姿なども、しっかりと見させて、今に生きる私達の希望を学びたいものです。



主演 吉永小百合
監督 山田洋次

母べえ

日本映画 山田洋次 監督 吉永小百合 主演
脚本 山田洋次 原案 山田洋次 監製 山田洋次 演出 山田洋次
制作 山田洋次プロダクション 配給 東宝 宣伝 東宝宣伝部
上映 1940年12月15日 終映 1941年1月26日

現代中国の教育事情

16

山陽学園大学教授 班偉

役人の無駄をなくせば

映画「あの子を探して」は日本でも上映され、うちの大学の図書館にも置いてあり、私は授業で教材として使っています。非常によくできていて、貧しい田舎の民衆教師、いわゆる代用教員の闘いを描いた作品なのです。とにかく田舎の学校は予算が足りず、やむを得ず授業料以外に設備費、補習費、衛生費、管理費、暖房費、講習費などいろいろな名目を立てて生徒からお金を徴収します。最近SARSとか、鳥インフルエンザがはやっているのに、SARS予防講習会、鳥インフルエンザ予防講習会などの名目で、また参加費を徴収するのです。そうすると、もともと貧しい親たちは、嫌気がさして子どもを退学させてしまっ、これが一番深刻な理由です。

中国政府は、「お金がない」予算が足りない」と繰り返しています。

しかし、私が調べたところ、2004年、官々接待や公用車購入・維持の公費の総額は6000億元、日本円では9兆円近くで、教育予算をはるかに上回っていました。

なんと国家予算の2割ほどが役人たちの公費飲食、つまり飲み食いなどに使われているのです。最近、日本でも国会議員や職員の公費飲食が問題とされていますが、中国はスケールが大きすぎる。お金がない、ないと言いつつ、一方でそういうむだ遣いも相当しています。

私の試算では、仮に中国の田舎で義務教育を受ける子どもが1億人いるとすれば、一人当たりの年間5

000元の個人負担をなくすには、政府がさらに500億元を出せば、農村の義務教育の無償化が実現できます。この6000億元の無駄遣いの1割でも農村の学校教育に使えば、この問題は十分解決できるはずですが、

イデオロギー教育

二番目に、イデオロギー教育の問題です。中国はやはり社会主義の国で、文化大革命のときほどではないにしても、「愛国」「愛党」という観念が常に強調されます。

近年、日本の教科書問題で、中国政府からいろいろと非難が出ていますが、しかし、中国の国語、政治、歴史などの科目の国定教科書を調べて

日中友好協会倉敷支部

中国東北部平和交流の旅に参加して ②

片岡淑子

秋というには少々寒かった中国の旅。観光気分に参加した私に、もうひとつの中国との出会いの旅でした。行く前に「悪魔の飽食」を再読して現場に立った時、予想よりもっとひどい日本軍の行為に震えと胃の痛みを覚えました。この資料館は世界中の人々に、日本人の恥をみせつけるようであり、な気分になりました。でも歴史は変えられません。この現実を私達は背負っていくなくてはなりません。

みると、大躍進、つまり大飢饉で2000万人の餓死者を出した大躍進や文革、天安門事件などにはほとんど触れていません。共産党礼賛一色です。悲しいことですが、このような思想統制の厳しい教育環境からは、1920年代の魯迅や胡適らのような、近代中国を代表する世界的な文化人は、もう生まれてきません。

受験一辺倒の風潮

三番目は、受験一辺倒の風潮です。学校は、先ほど申し上げたように、部活も少ないし、文化祭も少ない、とにかく受験勉強で問題集ばかりをさせます。これでは、点取り虫のような人間にしかありません。授業の習い方も暗記が中心です。

私の教育観というところでは、知識の量、つまり学んだ成果を示す学力よりも、むしろ生徒たちが、学生たちが自ら学ぶ力という意味での学力の養成は非常に大事だと思えます。私自身の体験からも、自分で



天安門広場

問題意識を持つて学ぶ力という意味での学力の養成こそ本当の教育だと思います。世界各国の高校生が集う年に1回実力を競う国際教養オリピックや物理オリピック、化学オリピックとかを見ると、毎年優勝するのは、中国の高校生チームです。中国人は確かに受験やテストが得意です。しかし、残念ながら今までのノーベル賞を取れるような研究者は、一人も育っていません。いくらコンクールやテストの成績が良くても、創造力が足りないのです。だから、中国国内で自然科学系のノーベル賞の受賞者はいまだに一人もいないのです。

つづく

日中岡山9条の会

昨年の12月15日号の本紙で報告しました、参議院議員・藤末健三氏（比例区選出）より完成した本（下に紹介）が郵送されてきました。本の末尾に「日・英・中・韓国語の日本国憲法前文と第9条」という資料が掲載されています。その中国語訳が、日中岡山9条の会ホームページ出典と紹介されています。

このような形で利用される事は考えていませんでしたが、私たちの努力が少しでもお役に立てたのなら、これほどうれしいことはありません。今は、中華人民共和国憲法」の日



本語訳に取り組んでおります。

メンバーの都合もあり、なかなかはかどりませんが、牛歩のごとく歩みをつけていくつもりでおります。

※なおこの本はAMAZONにて予約受付中。四六判132ページ価格714円。2冊以上購入で送料無料（真田）

理事会だより

議事・支部総会の日程5月25日(日)場所は昨年と同じ協立病院コムコム
財政・自転車操業(前払いの方が複数いらつしやるのでまわっています)
文化講座
やさしい日本語
講師竹内和夫

3月9日(日) 東公民館午後1時半
資料代:300円
料理教室:3月に次の会をを検討
帰国者支援:1月26日(土)午前10時~12時 中国帰国者との交流会
会場福祉交流プラザさいでん
2月21日(木) 第十四回口頭弁論
13時15分~その後さらめきプラザで記者会見と報告集会

次回の新聞発送作業は
2月1日(金) 午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

小林和
竹内和
竹内和
坪井



(平頂山の遺骨の一部)